

クレジットライフの はじめかた



かとう たくみ
加藤 拓海

本パンフレットの主人公。社会人一年目で、クレジットカードや個別クレジットを初めて使う。明るく前向きな性格で、思ったことをすぐ実行する行動力はあるが、その分思慮深さに欠けることがある。広告代理店勤務。

まつもと りな
松本 里奈

拓海の大学時代からの友達。社会人一年目だが、しっかりした性格で、大学生のころからクレジットカードや個別クレジットを利用して、知識も豊富。中学校の先生。

クレジットの
特徴

1 キャッシュレス

手元に現金がなくても、買い物ができます。
大金を持ち歩く必要がなく、
わずらわしい小銭の計算もありません。

2 後払い

商品やサービスの代金を
後払いすることができます。

3 計画的な購入

分割払いやリボ払いを利用することで、
月々の支出を抑えて
計画的に購入することができます。

まえがき

クレジットは便利な支払手段ですが、利用するためには、ルールや使い方を正しく理解する必要があります。
上手な利用者になるために、気をつけるべきポイントを勉強しましょう。

クレジット業界ではクレジットカードの セキュリティ対策に取り組んでいます！

より安全安心な環境でのクレジットカード利用の確保のために平成30年6月に「改正割賦販売法」が施行されました。
クレジットカードが使えるお店にはクレジットカード番号等の適切な管理や不正利用防止といったセキュリティ対策が求められています。

クレジット業界では、クレジットカードのIC取引を推進しています

安全にクレジットカードをご利用いただくため、クレジット業界では、偽造防止効果の高いICチップ付きの「ICクレジットカード」と「IC読み取り決済端末」を普及し、「クレジットカードのIC取引」の推進に取り組んでいます。
IC取引では、本人確認・利用内容確認の方法が従来の「サイン」ではなく、「暗証番号」の入力になります。



磁気ストライプを読み取って



サインで確認



より安全・安心な
クレジットカード
取引に



ICチップを読み取って



暗証番号で確認

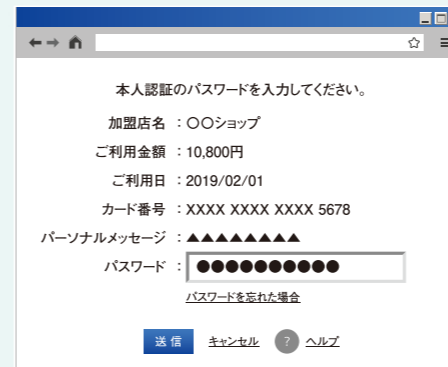


このマークが表示されているお店ではクレジットカードのIC取引が出来ます。

※カードの券面にシール等を貼ると端末内部に詰まり、故障の原因となりますのでご注意ください。

インターネットショッピングの不正利用対策を推進しています。

インターネットショッピングでの“なりすまし”によるクレジットカードの不正利用防止のため、「カード番号」と「有効期限」に加え、「追加情報(パスワードやセキュリティコード)」の入力等が必要になることがあります。



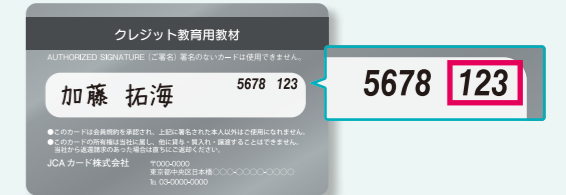
パスワード入力画面のイメージ

パスワードの入力追加(例)

インターネットショッピング専用のパスワードを入力することで、利用者本人が取引を行っていることを確認します。
※事前にクレジットカード会社へのパスワード登録が必要です。

セキュリティコードの入力追加(例)

クレジットカードの裏面もしくは表面に記載された3桁または4桁の数字「セキュリティコード」を入力することで、ご使用のクレジットカードが真正であることを確認します。



クレジットや個人情報に関する相談を以下にて受け付けています。

クレジットに関する相談はこちら

消費者相談室 Tel.03-5645-3361
受付時間:10:00~12:00/13:00~16:00
月曜日~金曜日(ただし、祝祭日および年末年始を除く)

個人情報に関する相談はこちら

個人情報保護推進部 Tel.03-5645-3360
受付時間:10:00~12:00/13:00~16:00
月曜日~金曜日(ただし、祝祭日および年末年始を除く)



✓ カードの申込時と届いた時の留意点

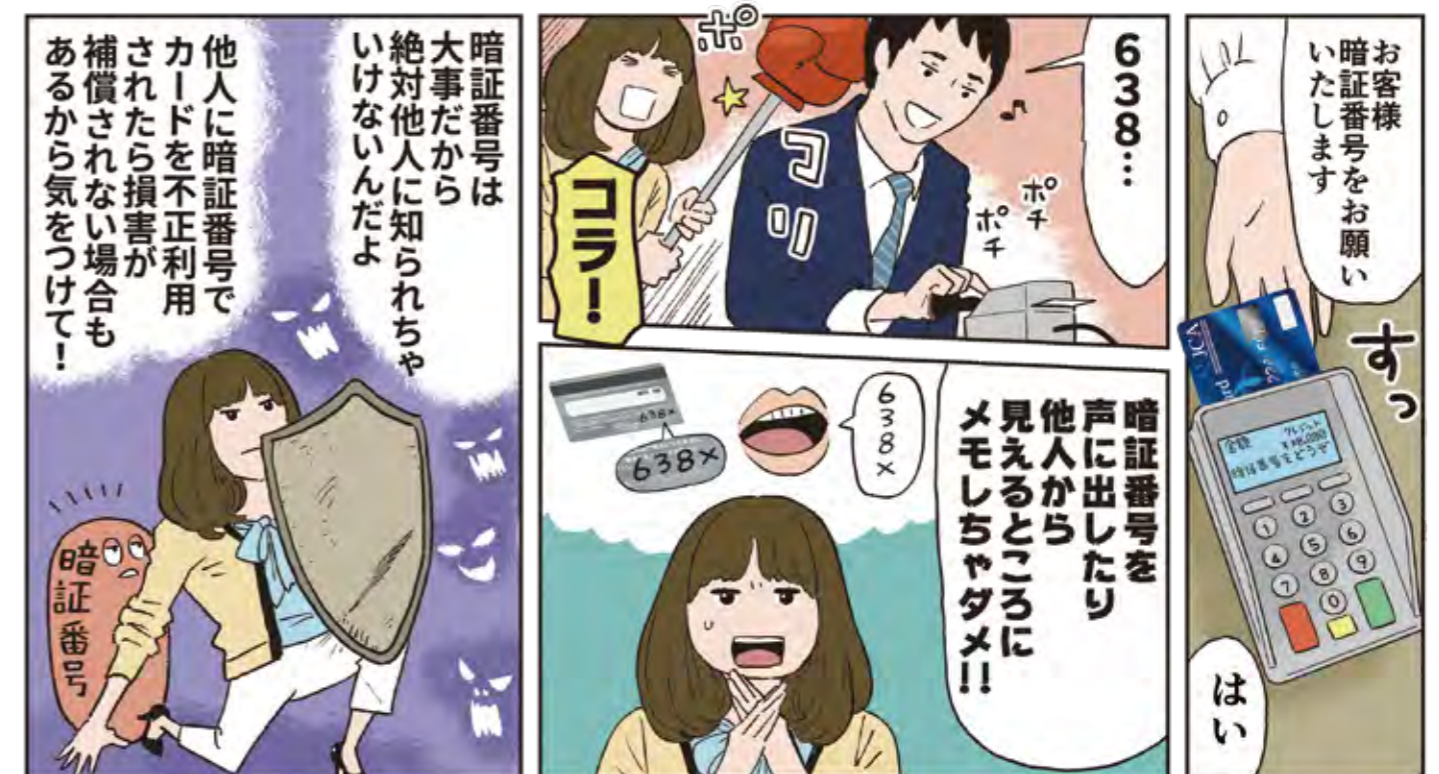
- 1 申込書に記入した事項をもとに審査が行われますので、記入漏れがないように正確に記入しましょう。
- 2 カードが届いたら有効期限、利用可能枠などを確認して裏面にサインをしましょう。
- 3 会員規約には、クレジットカードを利用するためのルールが書かれています。しっかり確認し、保管しましょう。



✓ カード支払方式の留意点

カードの支払方式は以下のようなものがあります。それぞれの特徴を把握して自分に合った支払方式を選択しましょう。


- | | |
|--|--|
| <p>1 1回払い（翌月一括払い）
商品等を購入した翌月に一括して（1回で）支払うものです。
カード取引で最も多く利用されています。一般的に手数料はかかりません。</p> | <p>2 ボーナス一括払い
商品等を購入した翌ボーナス時期に一括して（1回で）支払うものです。利用の時期にもよりますが、最大で約半年間支払いを繰り延べることができます。一般的に手数料はかかりません。</p> |
| <p>3 分割払い
カードを利用することに支払回数を決めて、均等に分割して支払うものです。
支払回数に応じて手数料がかかります。</p> | <p>4 リボルビング払い
利用金額や利用件数にかかわらず、設定した一定の金額で月々支払うものです。
残高に対して手数料がかかります。</p> |





リボルビング払い（リボ払い）の特徴と利用方法

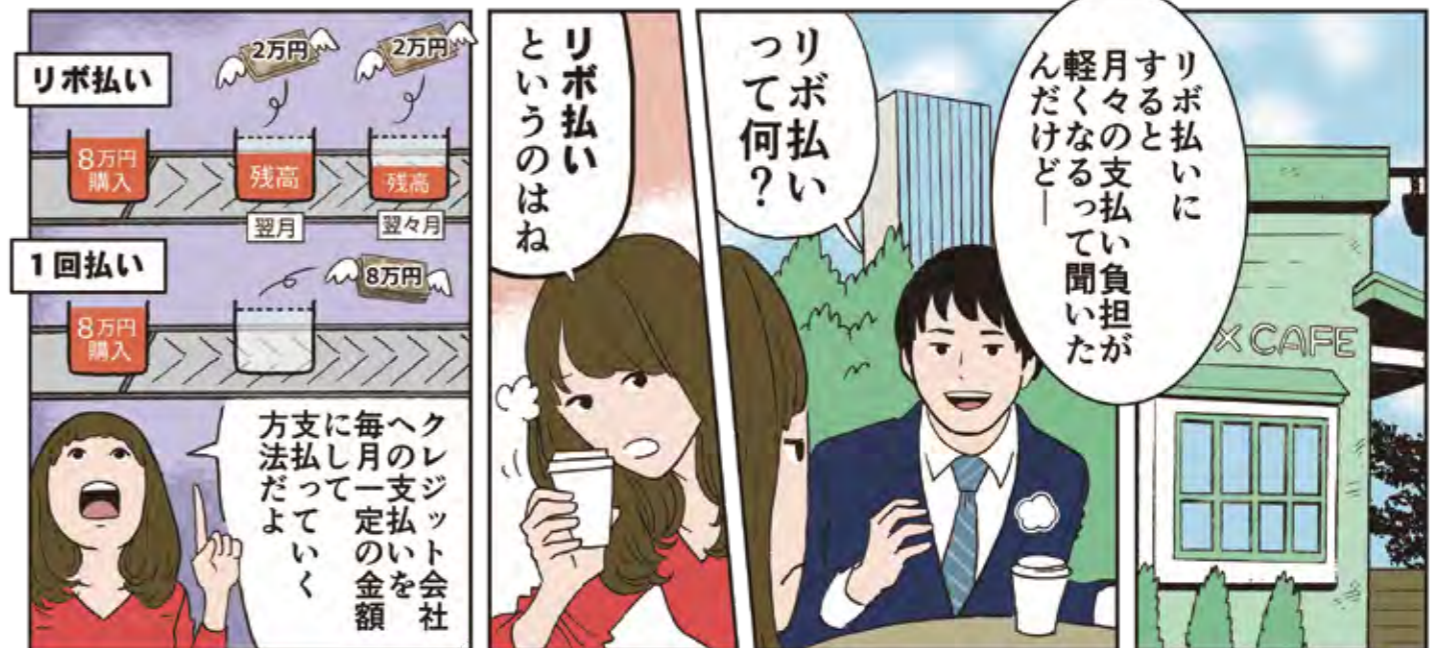
リボ払いの特徴と利用上の注意点について詳しくはこちらから▶



リボ払いとは？
利用金額や利用件数にかかわらず、設定した一定の金額で月々支払う方式です。リボ払いには、以下のような方法があります。

- 利用時選択型 カード利用時に、そのカードで利用できるいくつかの支払い方式の中からリボ払いを選択する方法です。
- 登録型 クレジット会社に「一回払い等でのカードの利用を自動的にリボ払いに変更する」旨の登録をする方法です。登録をしている間は、カード利用時に一回払い等を指定してもリボ払いでの支払いになります。
- リボ専用カード 初めから利用がリボ払いに限定されているカードで、リボ払い以外の支払方法は選べません。
- あとからリボ 一回払い等で利用したカードの利用分を、利用後支払月までの一定期間内にクレジット会社に申し出てリボ払いに変更する方法です。

リボ払いを上手に利用するためには？
リボ払いは支払残高をもとにした支払方式です。利用明細などで常に支払残高を確認し、無理な支払いにならないよう残高をコントロールすることがリボ払いの上手な利用につながります。リボ払いは繰り上げ返済が可能です。





インターネットでのカードの利用上の留意点

インターネットでクレジットカードを利用する際は、まず、利用するサイトの支払条件やセキュリティ状況などを確認しましょう。そのうえで、以下の点に注意しましょう。

- 1 カード会社や販売店などになりましたフィッシング詐欺に注意しましょう。
※フィッシング詐欺とは、実在する企業を装った電子メールを送り、企業のホームページと酷似した偽物のWebサイトに誘い込み、クレジットカード番号や個人情報等を入力させて窃取し、本人になりすまして不正な取引を行う犯罪行為です。
- 2 サイトにログインするためのIDやパスワードは使い回さず、推測されにくい複雑なものにしましょう。
※一つのサイトで起こった情報流出により、他のサイトにも不正ログインされ、カード情報などが盗まれる危険性があります。
- 3 Webサイトに自分のカード情報（カード番号など）を残さないようにしましょう。



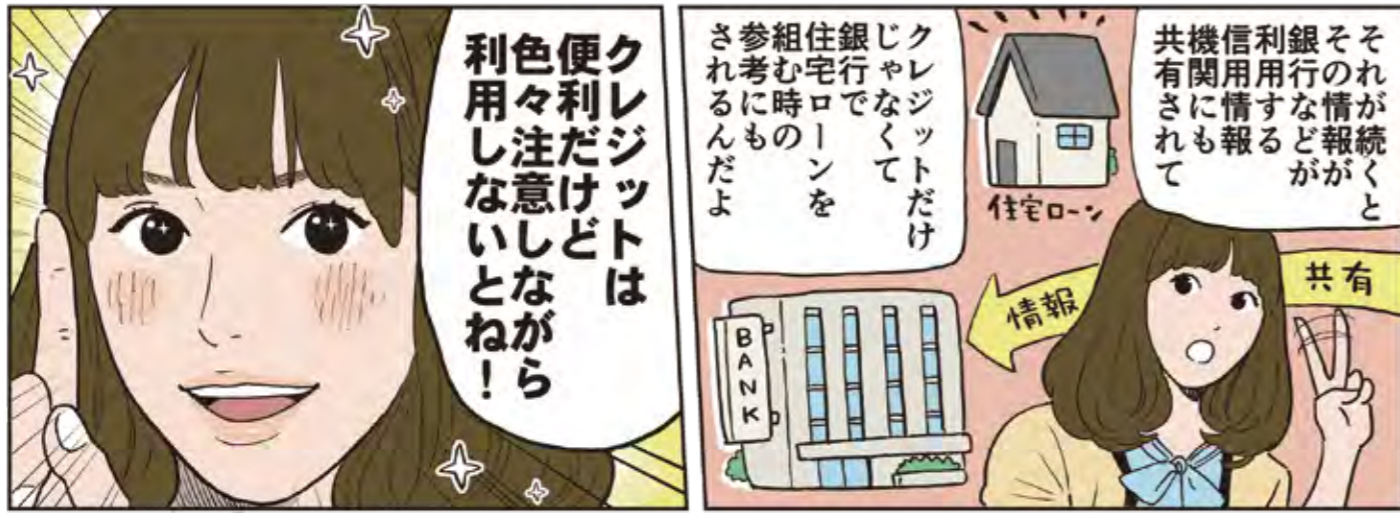


※本パンフレットのクレジット取引の流れは一例です。

✓ 個別クレジット利用上の留意点

- 1 毎月の支払額や回数など自分に合った条件をしっかりと確認したうえで、無理なく計画的に利用しましょう。
- 2 申込書に記入した事項をもとに審査が行われますので、記入漏れがないように正確に記入しましょう。
- 3 引き落とし日や毎月の支払額、利用上のルール等を把握するため契約関係の書類はしっかりと確認し、保管しましょう。



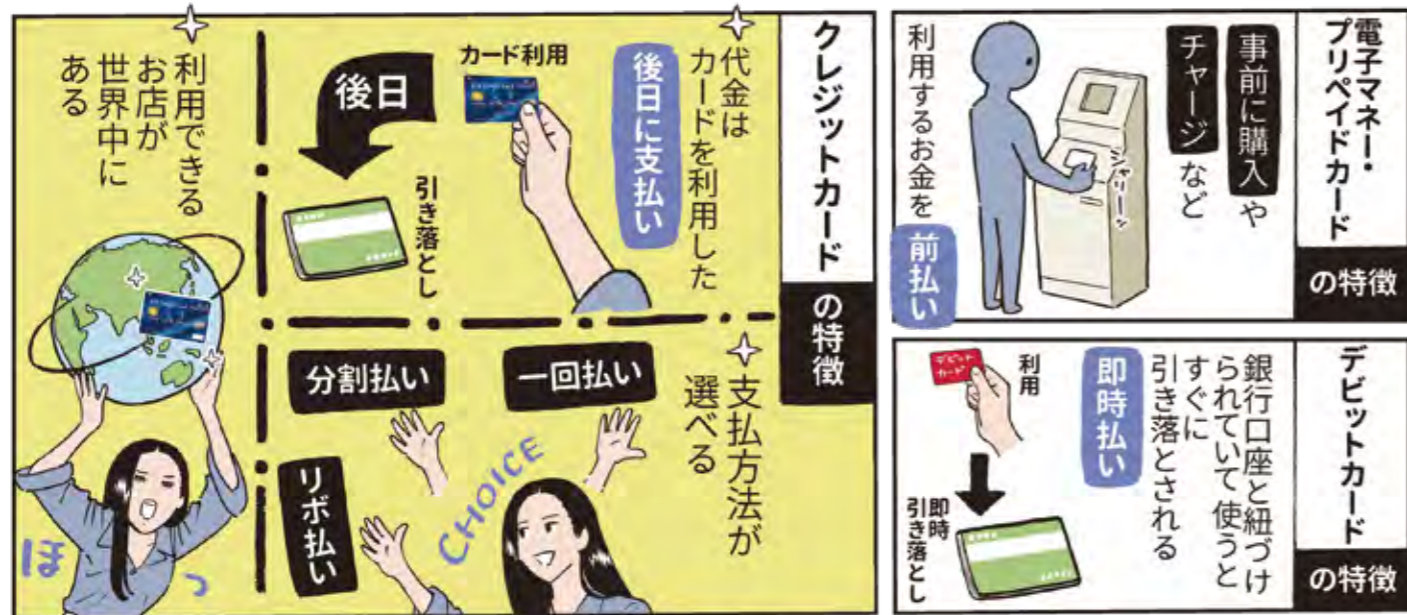


※本パンフレットのクレジット取引の流れは一例です。

✓ スマートフォン等の端末を分割払いで購入する際の留意点

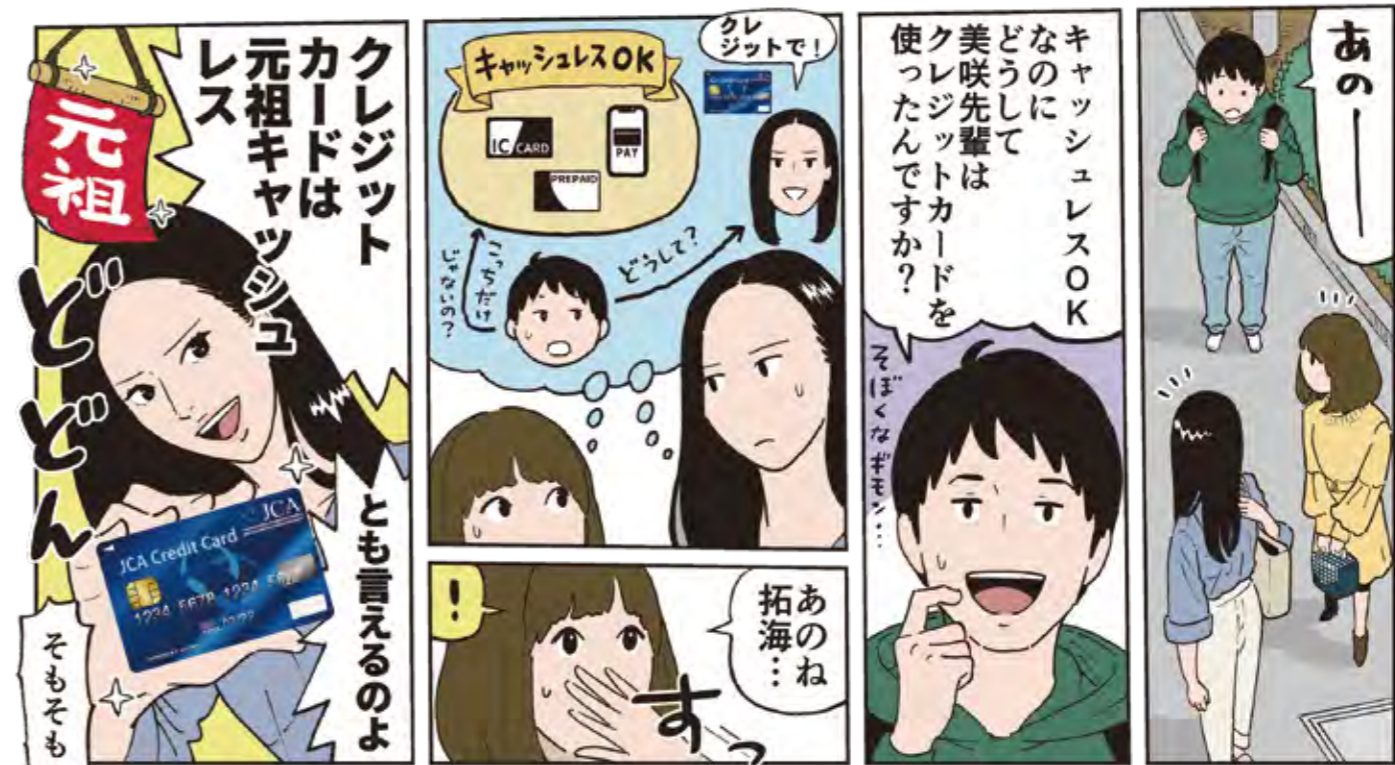
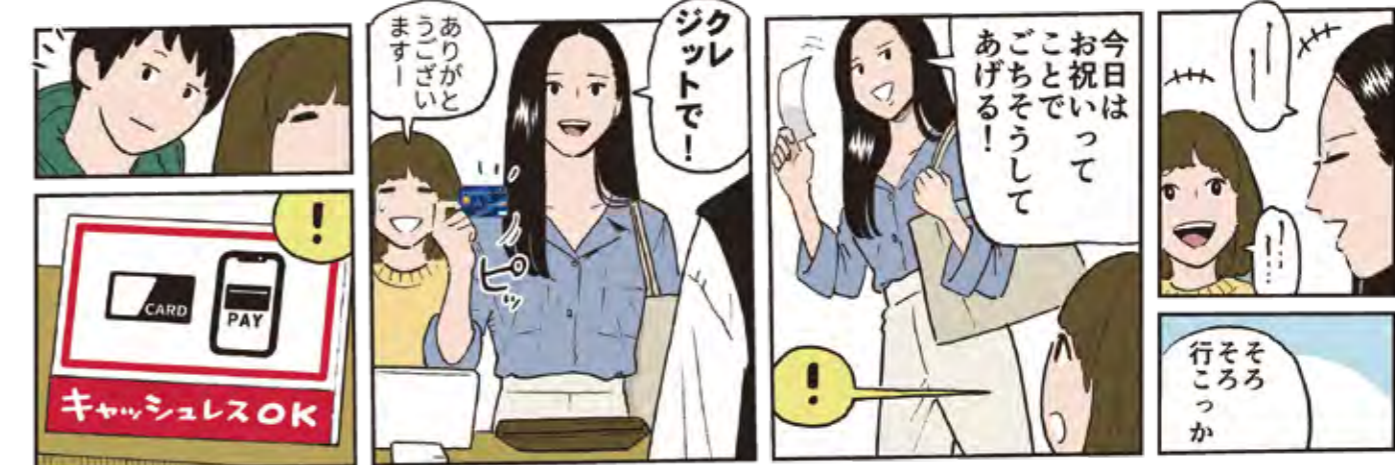
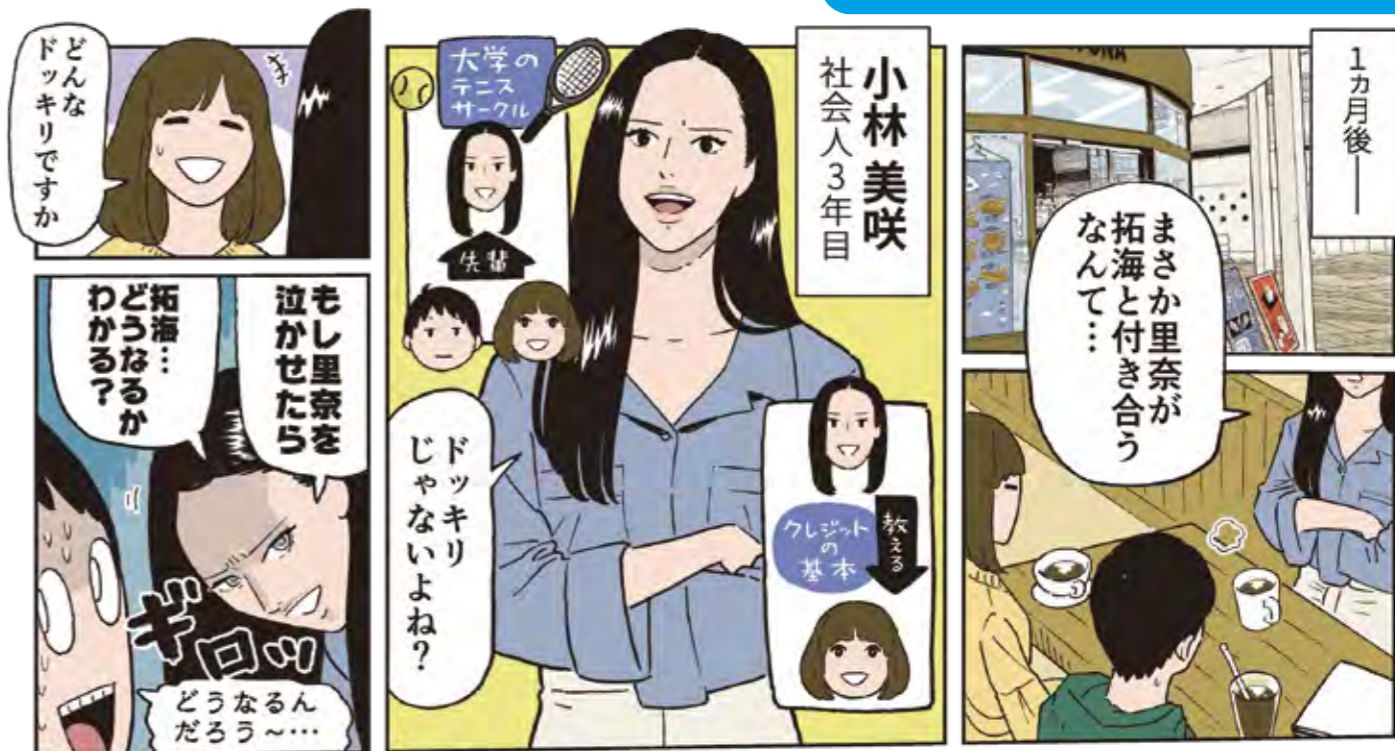
- 1 スマートフォン等の端末を分割払いで購入するのはクレジット契約になります。
- 2 スマートフォン等の端末を分割払いで月々の利用料と一緒に支払っている場合、月々の支払が遅れるとクレジットの支払いも遅れたことになります。
- 3 スマートフォン等の端末の分割払いの支払状況は、クレジットの取引情報として指定信用情報機関に登録され、以後のクレジット契約の参考にされます。





✔ クレジット (後払い) 利用のポイント

- 1 クレジットは、必要に応じて利用するとともに、利用するときは収入や他の支出も考えた上で無理のないしっかりとした支払計画を立てましょう。
- 2 クレジットカードを申込むときは、手数料(年会費)や支払期間、支払方式などの支払条件などを比較・検討しましょう。また、個別クレジットを利用するときは、月々の支払額や支払回数、支払期間、手数料の額などを確認しましょう。そして、クレジットカードの会員規約や個別クレジットの契約内容をよく確認しましょう。
- 3 クレジットの申込時や契約時に受け取った書類は、支払が終わるまで必ず保管しましょう。そして、利用明細と利用内容を必ず確認し、クレジット代金の支払期日は必ず守りましょう。





契約時の留意点

新成人などの若年者を狙う悪質な取引に注意が必要です。安易な契約はせず、慎重な契約を心がけましょう。契約時の留意点は以下の通りです。

- 1 軽い気持ちで契約しない
- 2 うまい話に飛びつかない
- 3 ネットでの情報に流されない
- 4 契約を急かす業者とは契約しない
- 5 支払いが不安なら契約しない
- 6 時にはきっぱり断る



※クレジットカードを持つには審査があります

3 利用明細

※利用明細のイメージです。紙の他、Webサイトやアプリで確認できます。

ご利用代金明細書

20XX年〇月〇日発行

10〇-〇〇〇〇
東京都中央区〇〇〇〇〇〇
〇〇 〇〇 様

JCAカード株式会社
東京都中央区日本橋〇〇〇〇〇〇
お問い合わせ先
TEL:03-〇〇〇〇-1234

お支払日	20XX年5月〇日(〇)	カード種類	一般
お支払額合計	26,063円	カード名称	JCAカード
		カード番号	4567*****4789

カードご利用可能枠	〇〇銀行
ショッピング	50万円
内 割賦枠	30万円
内 リボ払い	30万円
キャッシング	30万円
支 店	〇〇支店
科 目	普通
口座番号	1234*****

ご利用年月日	ご利用場所	ご利用額	支払区分	今回お支払額 (内手数料、利息)	備考
XX 04 08	JCA電気	50,000	リボ払	10,863 (863)	④
XX 04 10	JCA百貨店	30,000	分割払 (3)	10,200 (200)	
XX 04 12	JCAストア	3,000	1回払	3,000	
XX 04 14	JCAブック	2,000	1回払	2,000	
ご利用合計		85,000	お支払額合計	26,063	

リボ払いの支払明細(例)

リボ払い・キャッシングのお支払明細	リボ払い	キャッシング
〇月〇日現在(今回の締切日)		
① 前回お支払後元金残高	20,000	0
② 新規ご利用額	50,000	0
③ 臨時元金返済額	0	0
今回お支払額	10,863	0
④ 内元金	10,000	0
内手数料・利息	863	0
今回お支払後残高 (①+②-③-④)	60,000	0
ご利用枠	300,000	300,000
手数料・利率(実質年率)	15.00%	18.00%
お支払コース	残高スライド方式	元利定額
毎月お支払額	下記参照	10,000

リボ払いの毎月のお支払額

毎月締切時点での ご利用お支払額	10万円以下	10万円を超えて 20万円まで	以降残高10万円 増額毎に
毎月のお支払額	1万円	2万円	1万円増加

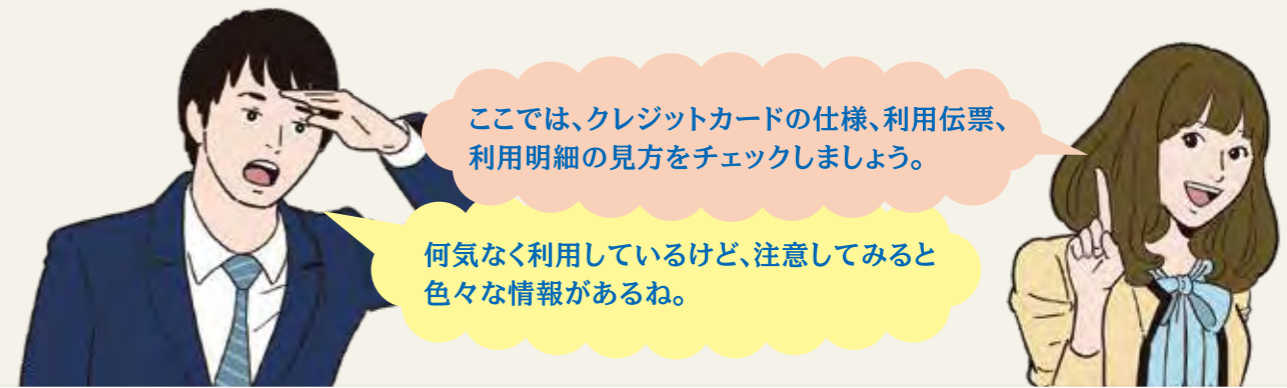
分割払い(3回払い)の支払明細(例)

分割・2回払い・ボーナス払いのお支払明細					
お支払月	お支払予定額	お支払残高	お支払月	お支払予定額	お支払残高
5	10,200	20,400	6		
6	10,200	10,200	7		
7	10,200	0			

支払回数	3回	5回	6回	10回	12回	15回	18回	20回	24回
支払回数	3ヵ月	5ヵ月	6ヵ月	10ヵ月	12ヵ月	15ヵ月	18ヵ月	20ヵ月	24ヵ月
手数料率 (実質年率)	12.00%	13.25%	13.75%	14.25%	14.75%	15.00%			

チェックポイント

- ① 口座振替の日にならぬ金額です。この日の前日までに、口座残高を支払金額以上におきましょう。
- ② ショッピング利用可能枠は、全ての支払いの利用可能枠、割賦枠は、その内「リボ払い、分割払い、ボーナス払い、2回払い」の利用可能枠です。利用可能枠を超えての利用はできませんので、把握しておきましょう。
※お金を借りるキャッシング枠のないカードもあります。
- ③ 利用日、利用場所、金額、支払方法などの明細です。金額など間違いがないか伝票の控えと照らし合わせましょう。
- ④ リボ払いの明細です。先月までの残高、今月の利用額、支払後の残高、手数料などを確認しましょう。
- ⑤ リボ払いの残高です。この残高に対し手数料がかかりますので、リボ払いを利用する際は毎月確認しましょう。毎月の支払いの他に繰上返済(一部・全部)で残高を減らすこともできます。
- ⑥ 分割払いの明細です。月々の支払金額、支払期間、支払残高などを確認しましょう。



1 クレジットカードの券面

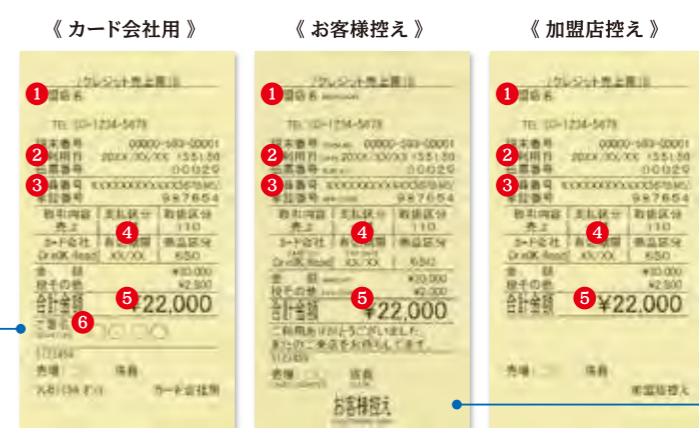
※クレジットカードの券面のイメージです。



- | | |
|---------------|--|
| ① 会員番号(カード番号) | 14~16桁の番号です。他人には知られないように管理しましょう。 |
| ② 有効期限 | カードの利用できる期限で、月/年(下2桁)で表記されます。 |
| ③ 会員名 | カード会員の氏名がローマ字で表記されます。カード会員本人以外は利用できません。 |
| ④ 国際ブランドマーク | 同じマークが表示された全世界のお店で利用できます。 |
| ⑤ 署名欄 | 他人に使われてしまわないように、必ず署名しましょう。 |
| ⑥ セキュリティコード | 磁気ストライプには記録されていない3桁のコードです。インターネット決済で必要になる場合には、この数字を入力しましょう。※裏面ではなく表面に4桁のコードで記載されているカードもあります。 |
| ⑦ クレジット会社の連絡先 | クレジット会社などの連絡先です。もしものときのために控えておきましょう。 |

2 利用伝票(売上票)

※利用伝票のイメージです。



IC取引でない場合は、支払方法、金額など利用伝票の内容を確認し、署名欄にサインをしましょう。

3枚つづりになっていて、「お客様控え」が利用者に渡されます。「お客様控え」は保管し、利用明細と照らし合わせて確認しましょう。

- ① 加盟店名 ② 利用日 ③ 会員番号 ④ 支払方法/カード会社名/有効期限 ⑤ 利用金額 ⑥ 署名欄